

市政のそこば聞きたか!!

一般質問

9月定例会で15人が横田市政を

問う!



掲載している内容は、一般質問を行った議員の質問と市当局の答弁の要旨です。

その他の質問および詳しい内容については、会議録をご覧ください。

会議録は、議会事務局、情報公開室のほか市内各公民館、島原・有明図書館などでもご覧いただけます。

また、市議会ホームページで島原市議会会議録が検索できます。

島原市議会ホームページアドレスは <http://www.city.shimabara.lg.jp/gikai/>

市の人口減少対策について



新風会
北浦 守金
議員

Q 人口減少の原因は何か。

A 全国的な少子・高齢化の進展による自然減、また、工場の海外移転や公共事業の減少による地方での雇用機会の減少も大きな要素で、加えてコスト競争による商店街等の雇用力の減少もある。

Q 人口減少の対策はあるのか。

A 第一次産業の振興に加え、それらの加工を中心とした製造業などの第二次産業の充実、また本市が有する豊富な観光資源を活用した第三次産業を通じて交流人口の拡大を図り、経済基盤を充実させていくことが必要である。また、公共機能の充実したまちづくり、交通情報ネットワークづくり、安全・安心な暮らしづくり、自立・協働のひとづくりなどの施策を掲げて取り組んでいきたい。

Q 人口減少に歯止めをかけるために地域高規格道路の早期完成が最優先課題と考えるが、進捗状況と市としての取り組み状況

はどうか。また、計画区間である出平町から愛野町までの間はどうかっているのか。

A 島原中央道路は、面積ベースで九十九・六％、地権者ベースで九十九・二％の協力をいただいている。工事の進捗状況は、四・五キロメートル全線で工事が着工し、トンネル工事についても、九百五メートルのうち七百三十九メートルまで掘削が進んでいる。八月二十四日に知事、県議会議長に要望したところ出平町から愛野町間については、具体的な工事を着工したいという話があったので、実現できるように地域を挙げて取り組む必要があると思う。

環境問題について

Q 温暖化対策の取り組みはあるのか。

A 二十年四月に島原市地球温暖化防止対策行動計画が策定され、マイバックの推進やレジ袋削減、ごみ減量化、電気の節電・節減、環境教育の推進を目標に、市民の理解や協力を呼びかけるために、昨年度は全世帯にその概要版を配布した。また、市役所内でも十九年度を基準として二十一年度から二十五年まで温室効果ガス総排出量を六％削減する目標を掲げている。

【その他の質問項目】

◇船津地区の高潮対策について